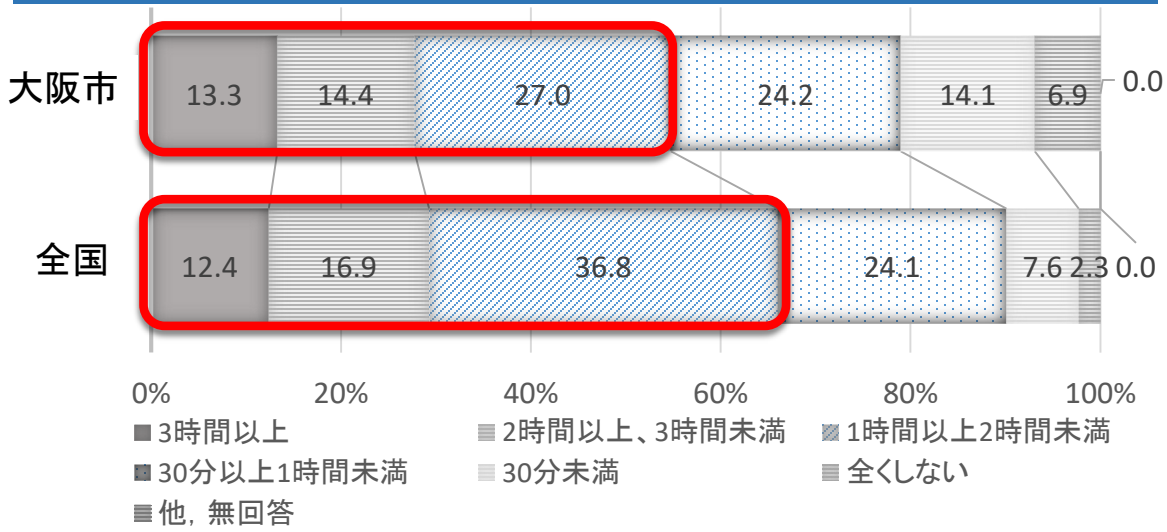
大阪市における家庭学習の状況

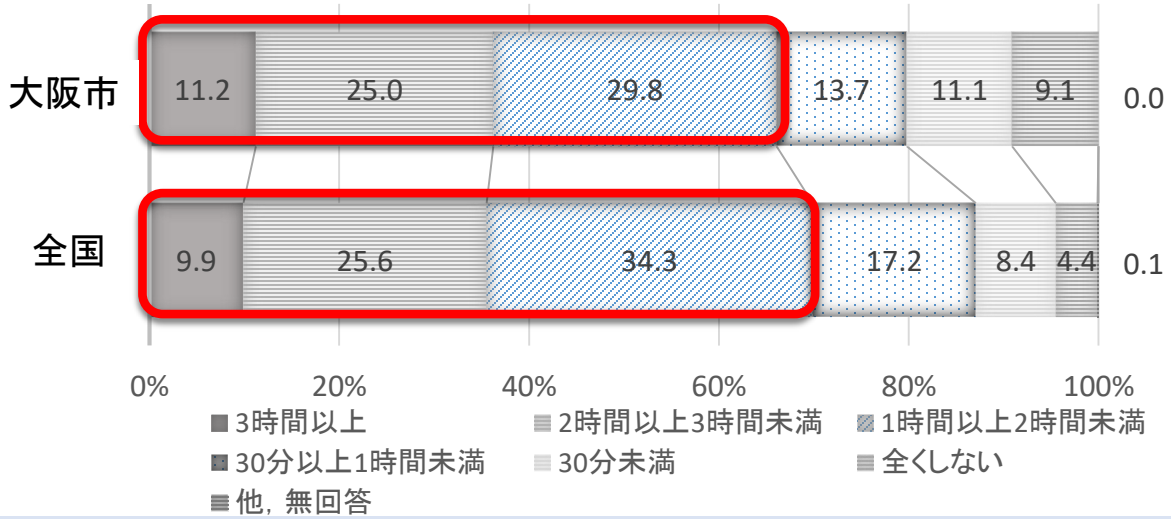
全国学力・学習状況調査　生徒児童質問　**学習習慣に関わる項目**　【平成31年度（令和元年度）】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。

小学校



中学校



全国に比べて、学校の授業時間以外に勉強している時間が短い傾向にある

家庭学習習慣が定着していない子どもの割合が高い

※　学力と家庭学習習慣は、相関関係があるとされている。

家庭学習習慣の定着に向けて

目的

家庭学習習慣の定着及び学習意欲の向上を図る。

取組内容

ＩＣＴを活用した取組として、タブレット端末を家庭に持ち帰り、学力向上に向け、デジタルドリルを活用した効果的な学習を検証する。

実施期間

令和元年８月～令和３年３月

対象校

小学校20校・中学校６校

対象学年（令和元年度）

小学５年生（約1,200人）
中学２年生（約450人）

対象教科

小学校：算数
中学校：数学・英語

利用環境

家庭においては、オフラインで利用
※学校の無線ＬＡＮ環境下で学習記録を自動的に収集

効果検証

◆家庭学習の記録等から家庭学習状況の変容を把握
◆定期的なテストにより、学力向上への効果を検証